

江戸川区内消防団合同点検

可搬ポンプ車による初の分列行進

平成二十年十月二十六日(日) 江戸川区篠崎町の江戸川河川敷右岸において江戸川区内の消防団員が集結して江戸川区内消防団合同点検が実施されました。前日からの雨で足元がぬかるむ中、約七〇〇名の消防団員が参加し、整列による部隊検閲を行いました。また、今回は二十三区内でも最大の所有台数を誇る四十三台による可搬ポンプ積載車の分列行進が行われ、車両による部隊行進に会場からもどよめく声が聞かれました。近年では交通事情や道路状況に的確に対応できる搬送車の重要性を消防団員一同は感じております。更に会場では大地震を想定した倒壊建物からの救出活動訓練やAEDを用いた救護活動、消防



震災参集訓練

荒川河川敷左岸で実施

平成二十年十月十八日(土) 東京湾北部を震源とした想定で震災訓練が東京消防庁全域で行われました。江戸川消防団では午前七時半に団本部から各分団長へ団員の格納庫参集連絡が行なわれ訓練がスタートしました。午前八時から団本部を中心に江戸川消防署と連携して、荒川左岸において特殊技能団員による角材や単管を利用したホースブリッジ設置訓練や広報委員による携帯電話での災害状況写真の団本部送信活動訓練を行いました。各団員は徒歩や自転車で参集し、最後に消防署と各分団がホースを中継しての遠距



年末消防特別警戒



江戸川消防団では毎年、「年末消防特別警戒」を実施しております。第七分団では十二月二十七日までは消防団だけで警戒にあたり、二十八日からは町会の方と合同で警戒にあたります。前半はポンプ搬送車による消防警戒の広報活動と路上駐車等による消防活動時の妨げにならないように広報しております。後半は町会の役員と協力しながら三班に分かれ、一班が十二名程度で二回夜警巡回を行ないます。巡回では家の周りを重点的に燃えやすいものが無い、危険な物が放置されていないか見回っております。毎年灯油のしまいが忘れがちな団員が丁寧に片付けをお願いしております。路地を細かく巡回するため、家並みの様子や変化等を確認することが出来ます。この地域は家が密集しており、強風時など悪条件に火災が発生したらどのような被害を抑えるかシミュレーションしながら巡回しております。

節分消防特別警戒

平成二十一年二月三日(火) 管内各地の神社、お寺で節分祭が行なわれました。江戸川消防団ではそれにあわせ、第一、第二、第三、第六、各分団に節分消防特別警戒本部を設置して警戒にあたりました。第六分団では豊田神社において十六時から豆まきに備え十二名の団員が警戒にあたり五〇〇名の参拝者の安全を見守りました。

活動だより

新入団員推進キャンペーン
平成二十一年一月十五日江戸川消防団管内三つの鉄道の駅頭において消防団員新入団員推進キャンペーンをサラリーマンのかたの帰宅時間を中心に行ないました。瑞江駅では団員がクリアファイルに入ったパンフレットを手渡ししながら入団の呼びかけを行ないました。また今回は女性に消防団の活動内容を紹介したドラマ仕立てのDVDを配布し入団のお願いをいたしました。



春の火災予防運動

三月一日から七日まで「春の火災予防運動」が行なわれました。今回のスローガンは「備えよう防火の心と 住警器」と火災による死者を出さないという思いを込めたものになっております。期間中江戸川消防団でも消防演習をはじめ、各地域においての防火診断等防火活動を重点に運動を実施し住宅火災警報器の設置推進を行いました。

消防団員募集中!

分団紹介

第三分団



神宮司分団長

我が第三分団は四十七名(女性団員五名)の団員で構成され、西小松川町会・五分一町会・松島南町会・松島東町会・松島西町会と中央地区の一部を受け持っています。五町会連合の総合運動会、各町会で行われる防災訓練に参加し初期消火、応急救護AEDの使用方法の指導、餅つき等の火を使う場所、担当地区内に在籍する寺社で行われる行事など大衆の集まる場所での警戒活動を行っています。他には地域内の小学校からの要請を受けて「消防団のやくわり」をテーマに講演などを行っております。これから、町会との連携を強くし火事災害の少ない明るい町、安心できる町であるよう活動、推進して参ります。



編集後記

今回も各方面の方々のご協力をいただき広報紙の編集作業も順調に進むことが出来ました。今後は消防団に限らず地域行事や学校などでの防災の取り組みなど、誰でもが関心のもてる紙面作りを考えております。情報等ございましたら広報委員会までご連絡下さい。また、ホームページの内容もより良く見やすいものを考えながら更新しております。ご意見等ございましたらメール受付をしておりますので宜しくお願いいたします。